

2003年1月25日

発行 社団法人
所沢市シルバー人材センター

編集 広報部会

〒359-1143

所沢市宮本町1-1-2

電話 042-928-8695

FAX 042-924-0630

ホームページアドレス

http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/

ところざわ



所沢航空記念公園内の椿

平成15年元旦の山口観音

撮影

三ヶ島地区会員の本山市作さん

兼松　社会全体が不安定のなかで新年を迎えるました。この難しい局面を乗り切るため、各役員も発想の転換をして、さらに勉強していく必要があると思います。

田中　副理事長の推薦をお受けした時、センターを取り巻く環境が大変厳しいなかなので大役が勤まるのか正直不安でしたが、お引受けした以上は微力ながら、当センターの発展に尽力せるよう頑張っております。



新春対談

秋山理事長、兼松・田中両副理事長の三役が語る！

シルバー人材センターの展望

島　新年おめでとうございます。本日は、お忙しい時間をさいて頂き有難うございます。

今年度の役員改選で、

秋山さんが理事長に、また、兼松さん、田中さんが副理事長に就任されました。半年たちましたが、皆様のご感想をお聞かせください。

秋山　会費の値上げが行われたにも拘らず、会員が増えている状況で、シルバー人材センターの役割がますます重大になりました。

田中　社会全体が不安定のなかで新年を迎えた。この難しい局面を乗り切るため、各役員も発想の転換をし、さらに勉強していく必要があると思います。

島 平成14年度上半期の実績についてお聞かせください。

秋山 会員皆様のご努力と事務局の奮闘により、昨年同期より契約高で9.1%、就業率で7.5%増加しました。順調にいけば14年度の目標である4億7千万円は達成可能と思います。



秋山理事長

ばして活躍して頂きたいですね。

田中 実績が上昇したのは、いろんな要因が考えられます。地域社会の多様なニーズに対して会員の就業意

ます。また、所沢市内に大型スーパーが3店舗開店し、会員が就業できたことなども実績が伸びた要因の一つかと思います。

島 今後の展望と具体的な計画をお聞かせください。

秋山 4~5年後は団塊の世代、つまり戦後ベビーブームの人達が60歳を超えるのでシルバーの会員増加が見込まれます。これに対応する政府の対策が望まれますが、当センターとしても、適切なローテーション、ワークシェアリングの実施、研修による技術の習得などを積極的に進めることを考えてています。

島 厳しいといわれるなかで、上半期にい成績を達成されましたが、それについてのご感想を伺えますか。

秋山 昨今のデフレ景気と倒産が後を絶たない現状で、全国で見ると、3割近くの地域で昨年に比べて実績が落ち込んでいます。

一方、当センターの実績がアップしたことは、地域的なことを考慮しても大変喜ばしいことだと思います。

兼松 景気低迷のなかで、これだけの成績を上げているのは、職員や現場で働いている方々の信用があるからだと思います。いい点をもつと伸

う全体のレベルアップを図っていきたいと思っています。

それには職群班の体制を強化していくことですね。

田中 センターの基本理念を堅持し、効率的な事業運営を推進しています。

財政面では厳しい運営を強いられている状況です。いま、進めているのは発注先からの事務費5%から7%以内へのアップです。事業運営面では就業適正公平化の実現を図るため、適正就業推進委員会の活動などを推進していきます。

また、国・地方自治体からの補助金が毎年減額されているのが現状であり、自主努力で財政基盤の強化を図る必要があります。

島 就業機会創出員の活動状況は如何ですか。

田中 会員の増加に伴って就業機会の開拓、また、受注拡大に創出員の方々が日々大変な努力をされています。創出活動を見ますと、前年度の実績を大巾に上回っています。契約

高は約5千37万円、上半期のセンター契約高の約20%を占めています。今後についても団塊世代の方たち



兼松副理事長

兼松 今回、筆耕の職群班(注1)を作りましたが、これからも技術の向上を目指し、委託に応えられるよ

頌
春

事務局	監理	専務理事	副理事長	顧問
"	"	"	"	"
職員	伊賀 三岩 小貫 大小 深九 押五 山佐 渡岸 島澤 上田 兼高 斎藤	伊賀 三岩 小貫 大小 深九 押五 山佐 渡岸 島澤 上田 兼高 斎藤	伊賀 三岩 小貫 大小 深九 押五 山佐 渡岸 島澤 上田 兼高 斎藤	伊賀 三岩 小貫 大小 深九 押五 山佐 渡岸 島澤 上田 兼高 斎藤
一政	藤藤 上渕 林井 館川 川鬼 切社 口藤 辺口	藤藤 上渕 林井 館川 川鬼 切社 口藤 辺口	藤藤 上渕 林井 館川 川鬼 切社 口藤 辺口	藤藤 上渕 林井 館川 川鬼 切社 口藤 辺口
同	武一淑 弘靖 京春辰 よし子			
司	隆雄 子久 治子 隆雄 弥博			

シルバーところざわ

がシルバーの年代になり会員の増加が見込まれる状況を考えますと、さらに、就業機会の開拓、受注拡大に創出員の方々に努力して頂く必要があります。

秋山　このような時代ですから、
出員の役割は重要だと思います。創

参考までに申しますと創出員の上半

島 就業中の事故が過去に比べ増加していると前回の理事会でも指摘があつたようですが、この件についての対策なりがありますか。

事故は10件前後は起きています。14年度はすでに上半期で7件も発生しております、一寸多いですね。事故の主因は、やはり、自分が歳を取つて体力が年々低下している事に気づいていない、やる気はあるのだが身体がついていかないのが問題です。

その点を会員の皆様にもっと理解して頂き、事故の減少に各自が努力する必要があると思いますね。

A black and white portrait of Tadao Nakanishi, a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit and white shirt. He is looking slightly to his left with a neutral expression. The background is plain and light-colored.



田中副理事長

シルバーで会った人達は私にとっては宝みたいなものです。私は書道に生きがいを感じております。

秋山 私も定年後に襖や障子張りなどを行つた一人ですが、技術・技能を持つことで定年後の人生を大きく変えることは可能だと思います。

がありましたら、お伺いしたいので
すが。
秋山 誠実と不撓不屈
兼松 出会いは宝 人生は輝きを
田中 明鏡止水
島 本日は、貴重な時間をさいて頂
き有難うございました。



(注1) 職群班

同一職種に就業している会員は、一つのグループと考え、グループ内において共に助け合いながら、共に働く「共働・共助」が基本。

活動內容

同一職種就業会員同士の連携を深め、職群班々長が会員間の調整や作業進行を確認し、共働・共助の心を培うとともに、将来的に会員の技術・技能の習熟を図り、その技量を見極め、効率よく、また安全に就業するための段取りを班内で調整するのが大切な役割。

今年は未年、私たちの年です

かつて、遊牧民は羊の頭数で財産を表したというが、日本の古い文献では羊への言及は意外に少ない。日本書記に「599年、百濟から2頭の羊が貢進された」とあるのが、最初の記録という。

日本とのおつきあいは別にして、グローバルな見地でいえば、羊達は羊皮紙として、肉として、皮として、毛として、黙々と人類に尽くしている重みのある存在のように思える。

新年にあたつて未年生れの会員の方々に「今年はどんな年にしたいですか」と伺いました。

(敬称略・会員番号順)

◆大正8年(1919年)生まれ

○長野 瑞穂

11・3生

7回目を迎えての余生は健康で明るく楽しく心ゆたかに送りたい

○松野 秀男

3・18生

歩く事、サークルや各ふれあいに出席し一日の喜びと健に感謝する

○豊泉 新吉

11・3生

健康で1歳になる孫の子守りが出来れば何より、鏡で笑顔の練習します

○鳴田嘉一郎

3・26生

将棋が上達すること、パソコンを習ってボケを防止すること



◆昭和6年(1931年)生まれ

○秋和 康夫

5・3生

思いつき時間かけて俳句を作りたい

○成田 晃

2・3生

スキー・テニス・ハイキング・スケッチを楽しみ健康で明るい生活を送る

○山田 貫一

4・12生

日本経済の顕著な再生の動き、就業者各位の無病息災等を祈る

○武井 祥弼

8・14生

体力作りを目標にしたい、体力なしに夢を実現出来ないと思うので

○尾崎 良雄

8・28生

やめて趣味の模型(城・舟等)を作りたい

○竹森 忠

10・18生

毎日曜日に山歩きしており特に今年は百名山達成したい、現在までに

目標=健康・無事故で作業
夢=一生現役
希望=後継者の育成

○海老澤吉男 7・21生
所沢まつり写真コンクールでサンバ賞を戴いたので今年は上位を目標

○藤 哲 3・12生
日常元気に過ごし人に迷惑をかけないように心掛け、人々とますます交流を図りたい

○押切 辰弥 8・8生
シルバー人生悔いなく、楽しく全うしたい

○寺崎 定雄 5・21生
未年生れ72歳、次の年まで安全・健

康に注意しスポーツ等を楽しみたい
○池亀 良彦 3・5生
体に気をつけて一步でも多く歩きたい

○成田 晃 2・3生
スキー・テニス・ハイキング・スケッ

チを楽しみ健康で明るい生活を送る

○山田 貫一 4・12生
日本経済の顕著な再生の動き、就業者各位の無病息災等を祈る

○武井 祥弼 8・14生
体力作りを目標にしたい、体力なしに夢を実現出来ないと思うので

○尾崎 良雄 8・28生
やめて趣味の模型(城・舟等)を作りたい

○竹森 忠 10・18生
毎日曜日に山歩きしており特に今年は百名山達成したい、現在までに

83、出来るだけ頑張る
○秀徳 凡夫 1・10生
ピアノ教室に行っている6歳の孫に私も遅れないよう練習すること

○秋谷千代子 2・28生
思いつき時間かけて気ままな旅に出掛けでみたい

○龜井 亮 7・8生
横着な羊は自分の毛さえ重いと感ずる・・・英國の諺、和して同ぜずに徹して生きたい

○糟谷 幸雄 5・26生
羊のようにならぬ接客をいつも心に、健康で仕事の出来る幸祈る

○高橋 利雄 1・29生
基本である健康キープを心掛ける、天災・地殻変動のない年でありたい

○鈴木 家得 6・13生
健康な今を感謝しつつ何等かの役に立つていただき

○勝又 一 6・9生
現在、習得中の「校正技能」をプロ並みのレベルにすべく取り組みたい

○阪口 邦夫 6・4生
ボーリングでは市長杯、民謡では江差追分をものにしたいです

○越賀 健 9・23生
健康第一で少しは働くこと、次に趣味を生かした活動をすること

シルバーところざわ

- 関根 栄一 7・19生
自転車整理を早朝3時間行っています、健康維持にとても良いです
- 田村 勇治 11・29生
船(クルーザー)で世界一周をした
- 志村平三郎 5・15生
健康に注意し気持ちだけは若く喜ばれる仕事をしたいと思います
- 岡島 健一 11・6生
平穏な世の中、昇り調子の日本経済、そんな中で私は趣味を深めたい
- 田村 昭彦 1・25生
今年の目標は明るく楽しく元気よくです、日々健康に心掛けて行きます
- 石塚 健治 10・26生
健康で1ヶ月に15日位働くことが希望です
- 門田ひさ子 1・4生
平成15年新春を迎える第一、社会に感謝、家族揃って明るく一歩
- 吉田 三郎 2・21生
いまパソコンを勉強中です、これらは健康第一に仕事をしたい
- 新井 辰夫 7・7生
家族共々健康と事故防止に努め皆様に迷惑をかけず余生を頑張りたい
- 河合よし子 1・10生
仕事に対して自信が持てました、一

日を大切にがんばっていきます

○金田 暉 12・26生
夢と希望を捨てず健康第一、毎日汗を流し有意義な人生を送りたい

○山上 和夫 6・27生
エクセルの習得で活動をアクティブに、十二支の山「未丈ヶ岳」登山

○小原 弘之 9・25生
これからは勝手気儘に生きようとなれど発見新しきこと

干支生れの会員の方から

俳句人生

中央地区 秋和康夫 (俳号柳水)
(所沢市俳句連盟副会長)

明けましておめでとうございます。大正・昭和・平成と我ながらよく生きながらえたものと感慨も深く、周囲の方々からも「健康でいいですね」と讃賛されている今日この頃です。

青春時代の大半を忌わしい戦場に明け暮れ、揚句の果て収容所生活をすごし無事に生還出来た事は、せめてもの幸いと痛感しています。復員後、マラリアに悩まされ生死をさまよった事も昔語りとなりました。

ながらえてゆくる月日や初唐 柳水

乾坤の音肅々と初詣

例年のごとく神明社に初詣、いつも健康と平和でありますよう祈念致しました。

○岡本 茂 3・21生
パソコンスキルの全体的レベルアップ、特に動画編集とアツプロード

○加藤 孝 3・9生
今年は私達の年です、健康で元気にがんばって行きたいと思います

○伊藤 利雄 1・24生
健康で毎日を過ごし、自転車預かりの仕事を続けたいです

七十二歳の「従心」
(意のままに)

○岡本 茂 3・21生
パソコンスキルの全体的レベルアップ、特に動画編集とアツプロード

十二年前、自分に還暦という日が訪れてくるとは、夢にも思つていなかつたが、現実にそのときはやつてきた。ふと自分を顧みる。その十年前に夫を亡くし、息子・娘はそれぞれ家庭をもち幸せに暮らしている。

では、私はこれからどのように生きていこう? 真剣に考えた。そして、まず太極拳を始め、書道にも打ち込んだ。今まで人前で歌うことに抵抗があつたが、果敢にもカラオケにまで手を出した。思えば六十代はまさに、チャレンジの年代になつた。

それから瞬く間に一回り。これからは・・・十・二十代の志学からはじまって、而立。不惑。知命。耳順。そして七十代の従心。そう、人生の六節最後の節目に来てしまつた。自分がこの通り、節目節目に相応しく成長してきたかどうかは抜きとて、孔子の仰るとおり「従心」をモットーに、同居する息子に感謝しつつ、人生を有意義に過ごしていくことをおもう。

松井地区

秋谷千代子

理事会からのお知らせ

専務理事 上田 勝紀

平成14年10月29日(火)に開かれ理事会において、審議の結果次の事案が承認されましたのでお知らせ致します。

1. 事務費規程の一部改正について

センター事業の運営にあたっては「自主・自立、共働・共助」の基本理念の下で、全会員が一丸となり様々な事業に取り組み、効率的な事業運営に鋭意努力いただいておりますが、當利を目的としない公的・公共的性格の強いセンターといたし

ましては、市・国・県のご支援をいたき事業を運営しているのが現状です。一段と厳しい経済情勢の中、多様化するニーズに応えるため、更なる財政基盤を強化して行く必要があることから、事務費の額を現行の『5%』から『7%以内』に改め、平成15年4月1日より実施します。

今後は、市・関係機関・事業主及び市民のご理解とご協力をいただきため、啓蒙活動を含め努力してまいります。

※事務費とは、センターが取り扱う仕事の引き受けと、それを実際に行

たとのこと。おめでたいニュースです。



昨年5月に

退任された所

沢市シルバー

人材センター

前理事長高野英二氏(現当センター相談役)が平成十四年秋の叙勲で勲五等雙光旭日章を受賞されました。

勲記勲章は昨11月7日、埼玉県知事

より伝達され、同12日には皇居春秋の間で、天皇陛下よりお言葉を賜つ

ました。高野前理事長、
勲五等雙光旭日章を受賞

う会員への仕事の提供に要する諸経費等として受注額に含め、仕事が完了した都度センターが徴収するものです。

会員の配分金から徴収するものではなく、仕事の発注者より徴収するものであることを申し添えます。

2. 適正就業推進委員会

設置要綱の制定について

この要綱は、センター事業の理念である豊かな人生経験を生かし、地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事を、多くの会員が公平・平等に就業できるよう、様々な問題点等を調査・研究し、当センターの基本

助役など難しいポストをこなされています。その他、所沢市土地開発公社理事長、所沢市文化振興事業団副理事長も歴任されました。そのキヤリアによって市政の発展、地方自治の振興に多大な貢献をされたというのは衆目の一致するところです。

今回受賞について高野氏は喜びの言葉と共に「シルバーでの実績も加味されたと思いますので、会員の皆様のご協力に感謝しています」と当シルバー会員へ謝意を述べられました。

的考え方を示していただくため、委員会を設置したものです。

適正就業推進委員(五十音順・敬称略)

岩崎龍二・上田勝紀・大坂秀吉

岸 啓二・九鬼春雄・澤口富保

西方喜一・前田 元・山内康子

吉松直子・渡邊光信

所沢市長へ 支援強化のお願い

昨11月19日、所沢市役所において

秋山理事長、兼松・田中副理事長、上田専務理事が市議会選出の深川・小川・大館各理事同席のもと、斎藤

所沢市長に対し「シルバー人材センター事業」の支援についてお願ひしました。

まず、上田専務理事より提出資料に基づき平成14年度上半期事業報告と、一段の自主努力を行っていく旨の説明がなされた。更に市の協力がセンターを支えていく現状から平成15年度事業に対する一層の理解と、公共事業の発注の増大・補助金についてもご支援頂くよう申し入れた。それに対し、市の財政も現状は大変厳しいが、最大限の努力をするとの回答を頂いた。

(島記)

合同視察研修に参加して

山口地区 大阪 秀吉



14年度の「役員、地区委員、部会員等県外合同視察研修」が11月14・15日の両日実施され、参加者29名は

高い就業率（90%以上）を誇るいわき市シルバー人材

センターを見学した。

いわき市は福島県の東南端に位置し、茨城県と隣接している。昭和41年に14市町村が合併し、日本一広い面積を持つ市として知られている。東京23区の約2倍。人口は約36万人、東北では仙台に次ぐ大きな市のこと。車中から上田事務局長の説明で、両市の比較などを勉強しながらいわき市に向かつた。

目的地に到着すると、早速会議室へ案内され、

研修資料に基づいていわき市シルバー人材セン

ターの実情を聞く。「センターアイデアの説明からシルバー人材センターとは地域

の高齢者が共働・共助しあつて就業することにより福祉の増進を図り、しかも自主的に運営する団体ということを改めて認識させられた。

当方から質問した①高就業率②職群班③未就業

者対策④普及開発及び就業開拓⑤技能認定制度及

び⑥安全就業についてそれぞれ説明がなされた。

特に、私はいわき市シルバー人材センター独自の制度である★技能検定制度に注目した。これは講習会を開いて、技能を認め、資格を与えて就業させるというもの。★安全就業については、各自にルールを守らせる以外ない（人に頼るな、自分で守れ）ということだと理解した。

幾つになつても、社会の事柄に関心を持ち、見聞を広め、会員間の親睦を図るのは有意義といい、研修に参加させて頂いた。

会員安全就業推進委員会報告『安全標語』決定

同委員会で募集した安全標語に11作品が寄せられ、会議で次のように決定しました。

怪我するな 泣くも笑うも あなた次第よ
（優秀作品）

沓沢 勝美

安全は シルバーみんなの 合い言葉
（佳作）

亀井 克敏

慣れた道 慣れた仕事に 落とし穴
（佳作）

齊藤 金作

選から洩れた作品にも良いものが多く、選考委員も頭を抱えてしましました。会員の皆様もこれらの標語を忘れず安全就業に心掛けてください。また、ご応募頂いた全作品は安全就業のため今後使用させて頂きます。

武藏野散歩 湧水を巡る（1）

丘陵や台地があり、その崖下からは豊富な水が湧き出ている場所が何カ所もある。

昨年の秋、国分寺駅から徒歩で東京経済大学の「新次郎池」に向った。

そこは崖斜面に武藏野の面影をとどめる雑木林が茂り、4箇所から湧き出した水が池周辺の湿生植物を潤している。澄んだ水が音を立てて流れていく場所は心が癒されとても心地良いものだ。

崖下の砂礫層から地下水が湧き出ている所を一般に「はけ」と呼んでいる。

大学の裏門から出て「はけ」の道を10分程行くと貫井神社がある。

この神社は貫井村（現在の小金井市貫井南町）の鎮守で、昔から雨乞いすると必ず雨が降ると伝えられているそうだ。

小金井の地名は農業が生活の中心だった頃、農作物の収穫を左右する水を大切にし、日日照りの続く時は、水は黄金に等しいという意味の、黄金井（こがねい）に由来しているとのこと。

岩の間から絶え間なく出る湧水はせせらぎを作り、境内の睡蓮池へ流れ込んでいる。重量感のある大きな鯉が悠然と泳いでいた。ここには子供の頃、鎮守の森で遊んだ光景がそのまま残っていた。昔この一帯は山葵田や水田が広がっていたという。

（加藤記）

市民フェスティバルの報告

2日間で44万の人出で賑わう！

第23回所沢市民フェスティバルが昨年10月26・27の両日、所沢航空記念公園で開催されました。初日、午前中はあいにくの雨で人出が危ぶまれたが、昼前から雨も止み、午後から人出も多くなり、翌日は秋晴れの好天に恵まれ、両日で44万の人出で賑わいました。

当シルバー人材センター出店周辺は、手作り作品の販売や、子供向けゲーム遊びなど大勢の人で賑わった。婦人部の活躍は目覚ましく、例年同様の大きな成果を上げることができました。今回は地区委員の方々も参加され、シルバーパワーを結集し、当センターのPRも十分に達成できました。

後日、当センターフェスティバル実行委員会は、婦人部役員・地区リーダーと合同反省会を開き、意見や要望を出し合い、出展の企画アイデアの検討、備品準備の確認等について話し合いが行なわれました。

(岩崎記)

所沢市民フェスティバル報告

就業会員	42名
総売上金額	266,347円
(配分金)	252,808円
(事務費等)	13,539円

ご協力ありがとうございました



健康一口メモ

肺炎にご注意！

和田喜美子

肺炎は多くの場合、風邪やインフルエンザがきっかけで起こります。特に高齢になつて、抵抗力が衰え、気管が弱っているときに感染し易くなります。肺炎の半分は肺炎球菌によるものですが、最近は薬が効き難くなっています。従つて、肺炎を起こさないよう予防する事が肝腎です。風邪は手洗いやうがいでかなり防げます。インフルエンザはワクチンで30%~40%位予防できます。

ともかく、肺炎の引き金になる風邪の予防が先決です。「手洗い・うがいの励行」「入・ゴミを避ける」「マスクをする」等の習慣が大事です。

水は私達の生活にとつて不可欠のものだが、あまりにも身近すぎて水の大切さをつい忘れ勝ちになつてゐるようだ。ある学者の調査によると地球上の水の約96.5%が海水で、淡水は僅か3.5%。しかも淡水の68.7%は極や高山等の氷雪で、私達が直接利用できる河川や湖などの水は淡水の僅か1%にすぎないとのこと。

長年に亘り地下水を水道水として利用してきた所沢市では30年代後半から住宅地の開発、それに伴う人口の増加が急速に進んだため地盤沈下がおこつた。そこで、昭和49年から県営水道の水（県水）を取り入れ、現在では年間配水量の約90%が県水で、約10%が地下水となつてている。県水の水源は利根川・荒川水系のダムの水で、その水は大久保浄水場で処理され、市内4カ所の浄水場に送られて、地下水と混ぜ合わせ配水池に蓄えられる仕組みになつていて。1人1日当たりの平均使用水量は約248ℓ（ペットボトル約124本分）になるとの由。限りある貴重な水资源について、もう少し考えながら使う必要があるようだ。

(加藤記)

薄学駄話

シルバーところざわ

講習会報告

SP清掃講習会

『一生使えるテクニック』



昨年11月、当センター主催の二日間にわたる清掃講習会が旧庁舎において開かれ、後の一日を受講した。

講師は大平サービス(株)から派遣された二人の若い人だ。講習は午前10時から午後4時までビデオや復習を交えて、基本知識や安全作業、マナー、掃除器具の種類から始まり、タオルの絞り方、箒やモップの使い方等の講義、最後は、廊下、トイレ、事務室を清掃する実習であった。

掃除は高い所から低い所へ、狭い所から広い所へ、奥から入り口へ綺麗にしていくのが原則、掃き掃除はゴミや埃を踏まず、自分の靴、ズボンを汚さないために前進み。床・廊下の拭き掃除は、自分の足跡で汚さないための後ずさりである。

箒やモップの長柄ものは、片手の親指で柄の先端を押さえての作業が基本動作、長い柄で周りの人や壁や物を壊したりしない予防策だ。簡単なタオルやモップの絞り方まで「梃子の原理で」と聞くと『な

シルバーところざわ

るほどな』と思うことしきりであった。

窓ガラスや机上の埃を取るには濡れタオルでなく、半乾き状態の湿りタオル(例えば固く絞ったタオルにもう一枚の乾いたタオルを重ねて絞ると二枚の湿りタオルが出来る)が最適で一度拭きで充分きれいになる、更に乾いたタオルで拭けば完璧だ。ガソリンスタンドで車の窓を拭くときの要領と同じらしい。

普段、家庭の掃除では無意識にやっていることが、合理性を意識しながらすれば一段と効率的である。一度覚えてしまえば一生使える技術だと講師は言つておられた。



家事援助講習会

『介護はハートで!』

福祉・家事援助サービス事業講演会が、平成14年11月27日午前10時から、旧庁舎4階で開かれました。講師の白川勝茂氏は北海道の小学校を卒業し、数年家業(漁業)を手伝つた後、20歳から40年あまり、沖縄、

ケニア、アメリカ、アフリカ、ベルギー、スウェーデン、デンマーク、カナダ、ソ連、中国等海外の各国を歴遊したという異色の経歴の持ち主。

国際経験が豊かなばかりでなく、自分の納得した生き方を貫く方で、帰国後、68歳でヘルパー2級の資格を取り、72歳の現在、重度身体障害者やアルツハイマー専門の病院でボランティアをされています。そんな経験をふまえて話された「福祉制度のお国がらの違い」や「介護技術のあり方」などは興味深い内容でした。

「介護はハートで! (介護をしてあげるのではなく、させてもらつているという気持ち)」とか「嘘をついても相手の気持ちの安定を!」など、印象的な言葉もあり、参会者は深くうなづきながら、聞いていました。

料理講習会

『手軽なお正月料理』

所沢市シルバー人材センター主催のお料理講習会「手軽にできるお正月料理」が昨12月16日所沢市女性センターふらつとで開かれました。講師は所沢市栄養士会会員の本橋千鶴子先生。

お正月を目前に控えた好日程のため、男性3名を含む24名が参加、熱心に調理実習に取り組みました。献立は①えびのチーズ焼き②鶏肉の八幡巻き③玉子の三段蒸④柚子大根の4品。盛り沢山でしたが参加者の息の合ったチームプレイで、あつとう間に調理室はお正月の味と香りに包まれました。

(島記)





(埼玉労働者文化展知事賞受賞作品)

こつこつと初心忘れず且つ堂々と
未完成の器いかに成らむか

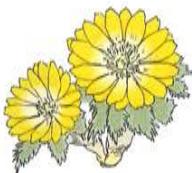
沓澤勝美

境内の打ちいる鐘の響かいて
初春の朝の光のすがすがし
松の葉影が障子に写る

小山 茂

恙なく喜寿過ぐ新春を樂しみて
若者の富士の産土神初日の出

渕江梯子(梯次)



婦人部日帰り研修旅行のご案内

女性会員の皆さん、お待ちかねの婦人部日帰り研修旅行を下記の通り開催します。参加希望の方は2月28日までに事務局へお申し込みください。但し定員になり次第締め切りますのでご了承ください。多くの方の参加をお待ちしています。

記

日時 平成15年3月13日(木)
集合 午前8時45分 旧庁舎1Fロビー
場所 地球観測センター(鳩山町)
明治製菓(坂戸市)
会費 2,500円
募集人員 30名

シルバー豆宣伝

街頭宣伝を実施

所沢に住む人達に、シルバー人材センターをもっと知らせるための街頭PR活動を昨12月13日午後3時半から、所沢駅西口周辺で実施しました。

当日は、週初めに降った初雪が、まだ路肩に残っており、平年よりやや寒い天候にもかかわらず、秋山理事長をはじめ会員理事、職員が参加しました。

全員がお揃いの黄色いジャンパーを羽織り、宣伝用リーフレットを抱えて四方に散り、駅前やプロペ通りを道行き交う人に「こんな仕事を引き受けます」と呼びかけると、立ち止まって説明に聞き入ってくれ、用意した資料も瞬く間に捌け、今年も上々の成果を上げることができました。



○独自事業担当者紹介

12月1日から事務局で会員の犬嶋敬子さんが斎藤功氏と一緒に独自事業業務を担当しています。よろしくお願いします。

○健康相談日
2月3日(月)午後
3月3日(月)午後

お知らせ

あとがき

△新年おめでとうございます。装いを改めた新年号をお届け致します。読み易くなつたと言つて頂ければ、準備のための苦労も吹き飛びます。誌面の大きさ(A4判)活字の大きさ(10.5ポイント)彩りなどに注目して下さい。題字は兼松副理事長に再び揮毫して頂きました。
▽今年のえと未年生まれの41名にご登場願いました。72歳・84歳の抱負は様々です。

一度開けられたパンドラの匣(はこ)に再び閉じ込められたという『希望』はどうやら人間が生きぬくための不可欠な要素のように思われます。

▽正月なのに厳しい風を感じます。しかし、新春対談では秋山理事長ら三役からセンター運営に関する力強い決意をお聞き出来ました。

広報部員一同本年も頑張ります。

(島記)